

会社説明資料

アイペットホールディングス株式会社

証券コード

7339

* 2021年度 第2四半期ベース

1. 会社情報
2. 業績関連
3. 中期経営計画

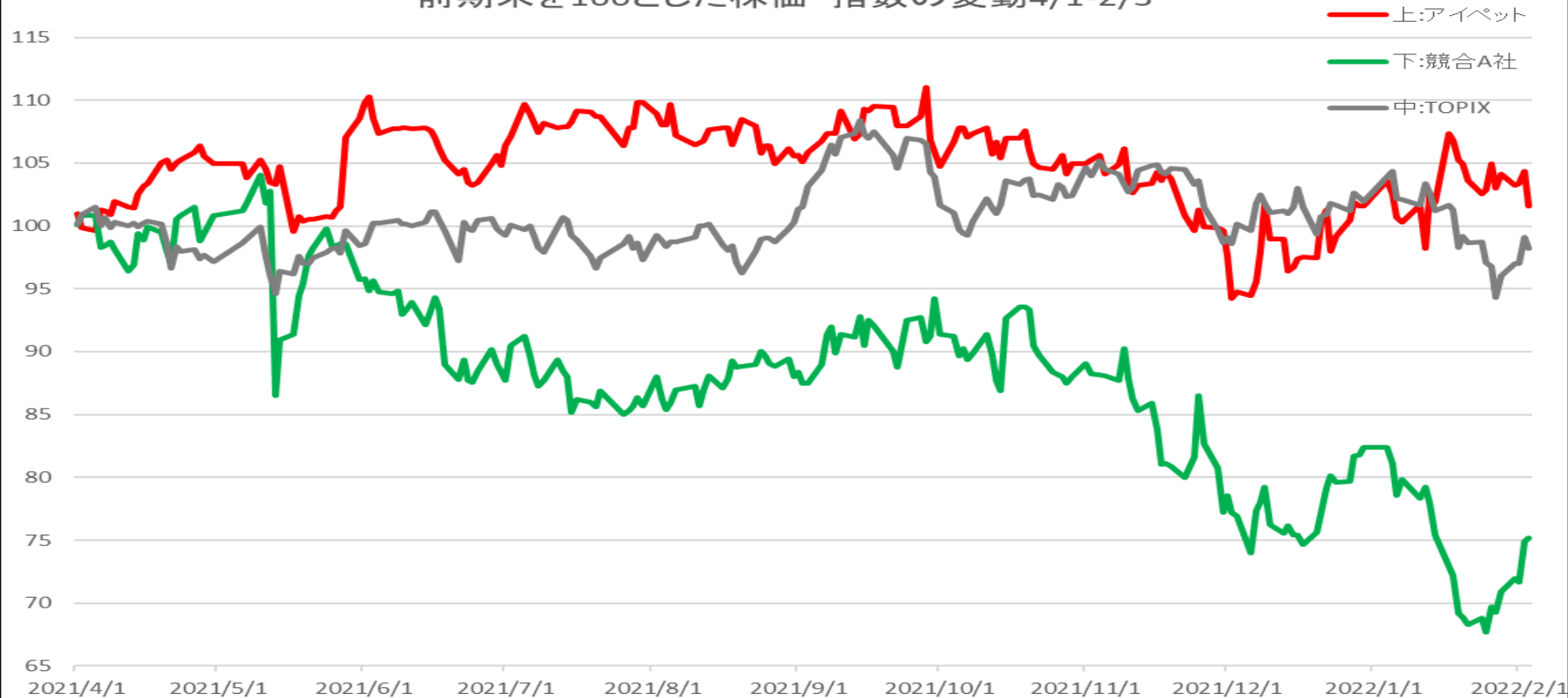
アイペットホールディングス株式会社

2022/2/3

2,177

証券コード 7339

前期末を100とした株価・指数の変動4/1-2/3



アイペットホールディングス株式会社

IRニュース

2021/10 -

2021/12/23

新市場区分における「グロース市場」選択

2021/12/17

【アイペット損保】保有契約件数が70万件を突破！

2021/11/19

【アイペット損保】「えるぼし」* 認定で最高位3つ星を取得

* えるぼし認定とは、女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画の策定・届出を行った企業のうち女性の活躍推進に関する取り組み状況が優良な企業が、厚生労働大臣により認定を受ける制度

1. 会社情報

- 会社名 アイペットホールディングス株式会社
- 証券コード 7339
- 設立 2020年10月
- 上場市場 東京証券取引所 マザーズ市場
- 資本金 104百万円
- 決算 3月
- 代表者 代表取締役 CEO 安田 敦子
- 本社所在地 東京都港区六本木 1-8-7 MFPR 六本木麻布台ビル
- 拠点数 国内17拠点
- 従業員数 546名 ※連結/2021年9月末時点
- 事業内容 ペット保険事業およびオンラインペット健康相談事業
- URL <https://www.ipet-hd.com>





アイペットホールディングス

2020年10月設立
東証マザーズ上場

100%



アイペット損害保険

100%

Pet's All Right, Inc. ペッツオーライ

2021年3月
子会社化

100%

P's-first
ペットファースト少額短期保険

ペットファースト
少額短期保険

2020年10月
子会社化

※ペットファースト少額短期保険(PF少短)は連結対象外（非連結子会社）



経営理念

ペットと人とが共に健やかに暮らせる社会をつくる

VISION

ペットと人の幸せを考え続ける会社

MISSION

ペットとの暮らしが愛情あふれるものにする

VALUES

♥ i for Happiness - ひとりひとりが幸せの創造者となる -

♥ Integrity - 誠実さこそが全ての出発点 -

♥ Innovative - 最高のクオリティを追い求める -

経営理念

ペットと人とが共に健やかに暮らせる社会をつくる

VISION

その先の、ペットの保険会社へ

MISSION

ペットの保険が当たり前の世の中にする

VALUES

♥ i for Happiness - ひとりひとりが幸せの創造者となる -

私たちは、より多くのペットとその飼い主さまに、商品やサービスを通して安心と幸せを提供します。
ペット、お客さま、お取引先さま、そして共に働く仲間も大切なステークホルダーであると認識し、
全てのステークホルダーを幸せにすることが私たちの喜びです。

♥ Integrity - 誠実さこそが全ての出発点 -

真に役立つ保険を通じ、お客さまと大切なペットとの健やかな生活をサポートする私たちにとって、
お客さまへ堅実で安定したサービスをお届けすることは当然の義務です。
誠実かつ正直な企業活動を通じて、社会を含む全てのステークホルダーとの信頼関係を築いていきます。

♥ Innovative - 最高のクオリティを追い求める -

私たちは、決して現状に満足しません。
変化の激しい時代にあって、進化こそが選ばれつづけられるために必要な原動力です。
お客さまに「ipetにしてよかった!」と思っていただけるその日のために、
共に働く仲間を尊敬し、困ったときには助け合いながら、変化を恐れず、改善と改革を重ねます。



➤アイペット損害保険がグループの中核会社。経常収益構成比：98.9%(2021年3月期)

- ・アイペット損害保険は、ペット保険を提供
 - ・ペット保険は、ペットが病気やケガで診療や手術を受けた場合、飼主が負担した費用の一定割合を補償。(補償期間は1年：更新型)
 - ・イメージはヒトの医療保険に近いが、位置づけは「損害保険」
- ・ペット保険業界第2位、市場シェア約27%。
- ・保険の対象は、犬猫が中心
 - ・犬猫以外に当社指定のエキゾチックアニマル(うさぎ,鳥,ハムスター,カメなど)向け保険も提供



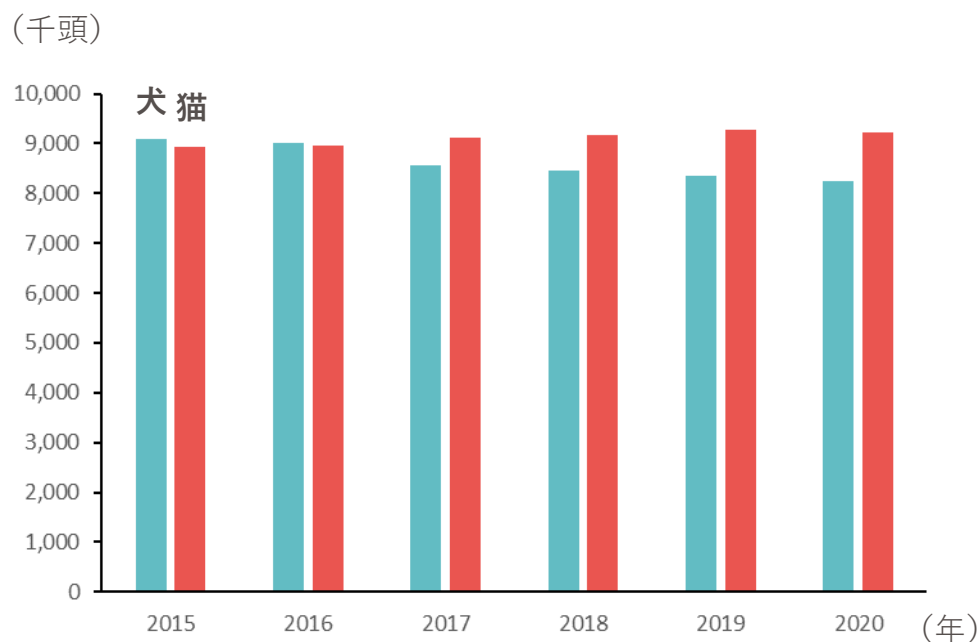
➤ペッツオーライ(2021年3月15日付完全子会社化)はオンラインのペット健康相談事業

- ・スマートフォンなどで獣医師やドッグトレーナー等に相談できる定額制サービス
- ・契約期間中何度でも相談が可能

➤ ペット保険市場は成長を続けている。市場環境は引続き好調である。

FY2020は新型コロナの影響で、行動変容に伴う飼育増が後押しとなった。

飼育頭数の推移*



(参考)***



15歳未満の
子どもの数

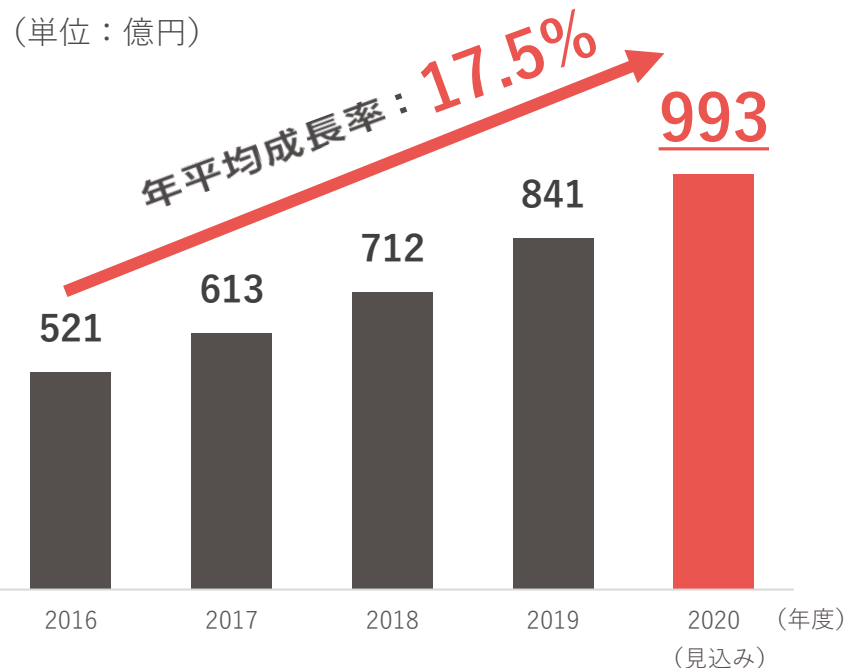
1,493 万人



犬・猫の
飼育頭数

1,813 万頭
犬：848.9 万頭 猫：964.4 万頭

ペット保険市場規模の推移**



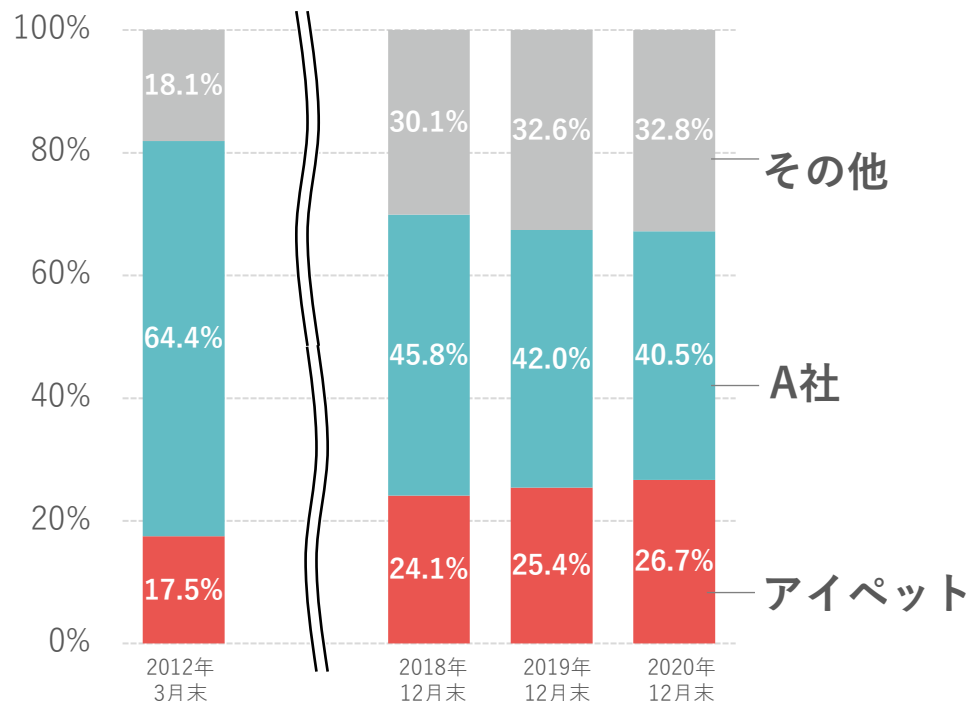
* 全国犬猫飼育実態調査（一般社団法人ペットフード協会）による推計

** 株式会社矢野経済研究所「ペットビジネスマーケティング総覧2021年版」
2020年度見込み(2021年1月時点)

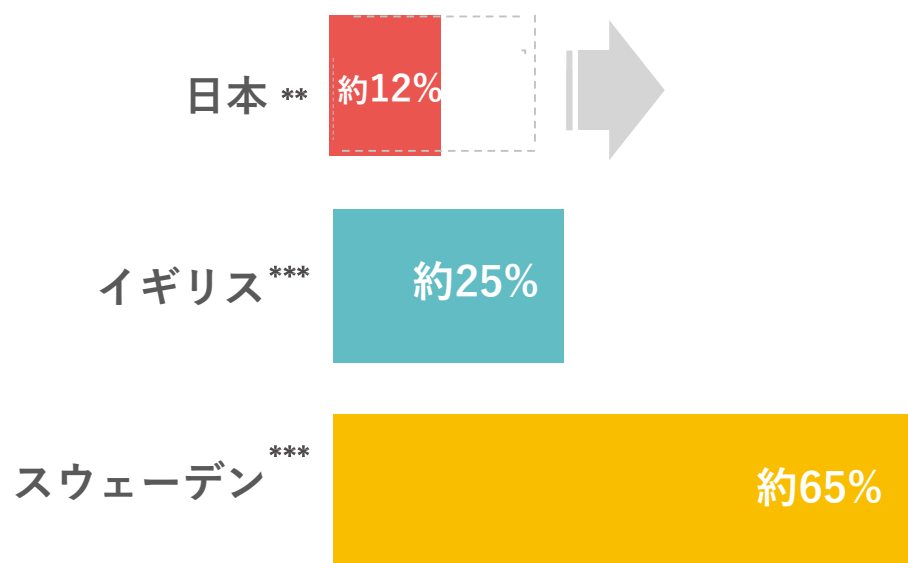
*** 総務省統計局「人口推計」/ 一般社団法人ペットフード協会
「令和2年全国犬猫飼育実態調査」

- 競争環境は上位2社で約70%を占める。アイペット損害保険はシェアを伸ばしている。
グローバルな観点から、日本におけるペット保険の伸びしろは大きい。

各社の保有契約件数シェア推移*



ペット保険の普及率 諸外国との比較



競合企業は金融庁免許を受けた損害保険会社5社（含む同社）に加え、財務局に登録された少額短期保険業者12社の計17社(2021年6月末時点) ※詳細は次頁参照

* 2018年12月末以降は、(株)富士経済「2020年、2021年 ペット関連市場マーケティング総覧」 2012年3月末は当社調べ

** 2020年時点。令和2年全国犬猫飼育実態調査(一般社団法人ペットフード協会) 及び 2021年ペット関連市場マーケティング総覧(株)富士経済) を基に当社算出

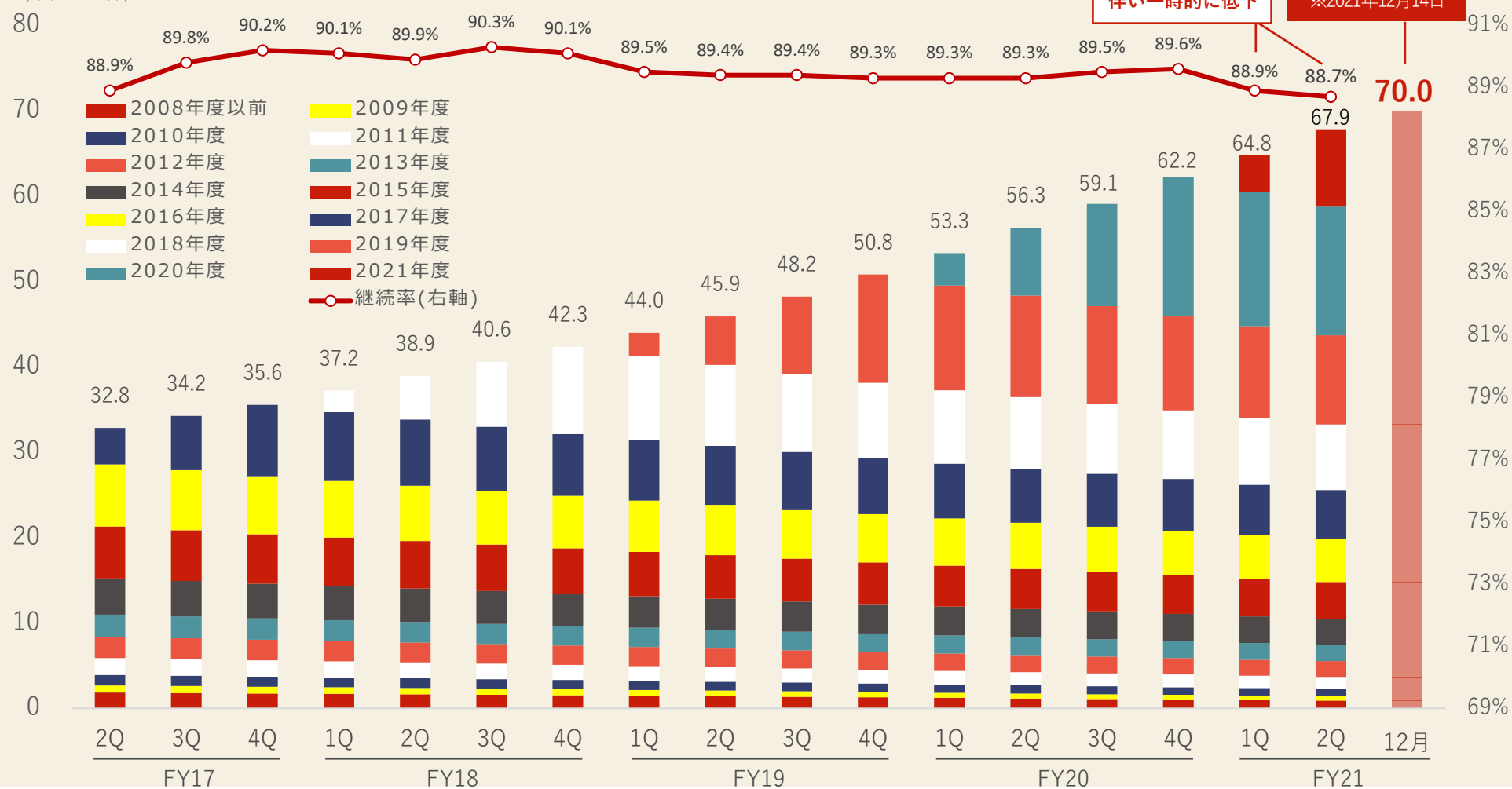
*** 2017年時点。Statista, BBC, Svenska Dagbladet, Timetric「Pet Insurance in the UK」

ペット保険事業の収益構造

➤ 好調な新規契約とトップクラスの継続率が保有契約件数を伸ばすストックビジネスである。
高い継続率により着実に契約件数が積み上がり利益を生み出す構造である。

保有契約件数（契約開始年度ごと）と継続率の推移

（単位：万件）

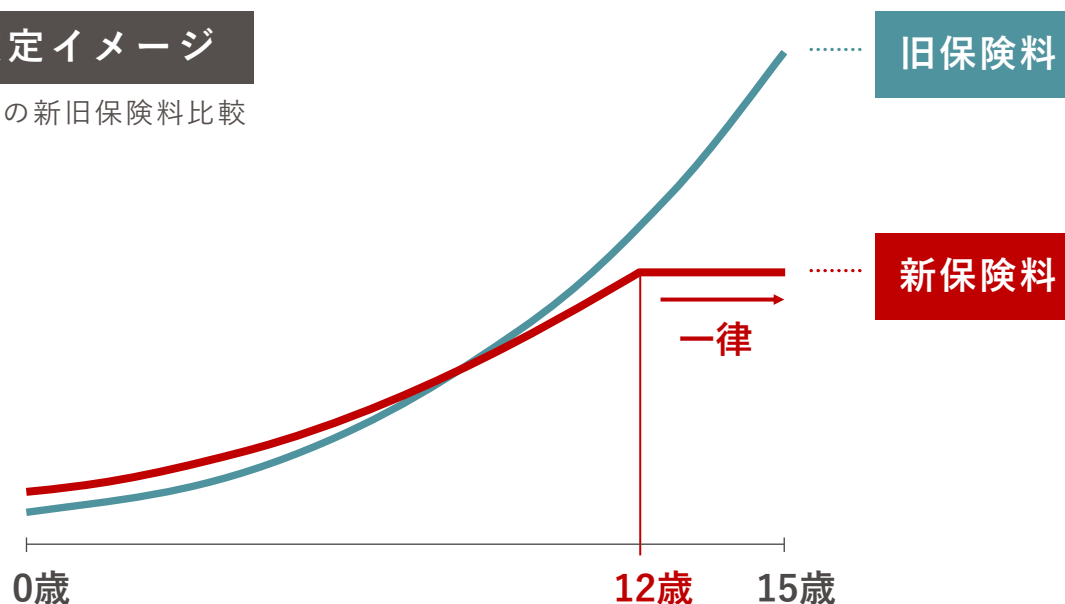


消費税増税や損害率の状況等を踏まえ、2021年5月2日より保険料改定を実施

- ・ 極端に高かった高齢層の保険料を引き下げ、継続しやすくしました。
- ・ 損害率が悪化傾向にある若齢層の保険料を一部引き上げました。

保険料改定イメージ

「うちの子」犬の新旧保険料比較



影響

お客さま

高齢層の保険料引下げにより、生涯（0歳から15歳までを想定）ご加入された場合の総額での保険料負担が大幅に軽減

収入保険料

収入保険料は増収

損害率

損害率の上昇を抑制

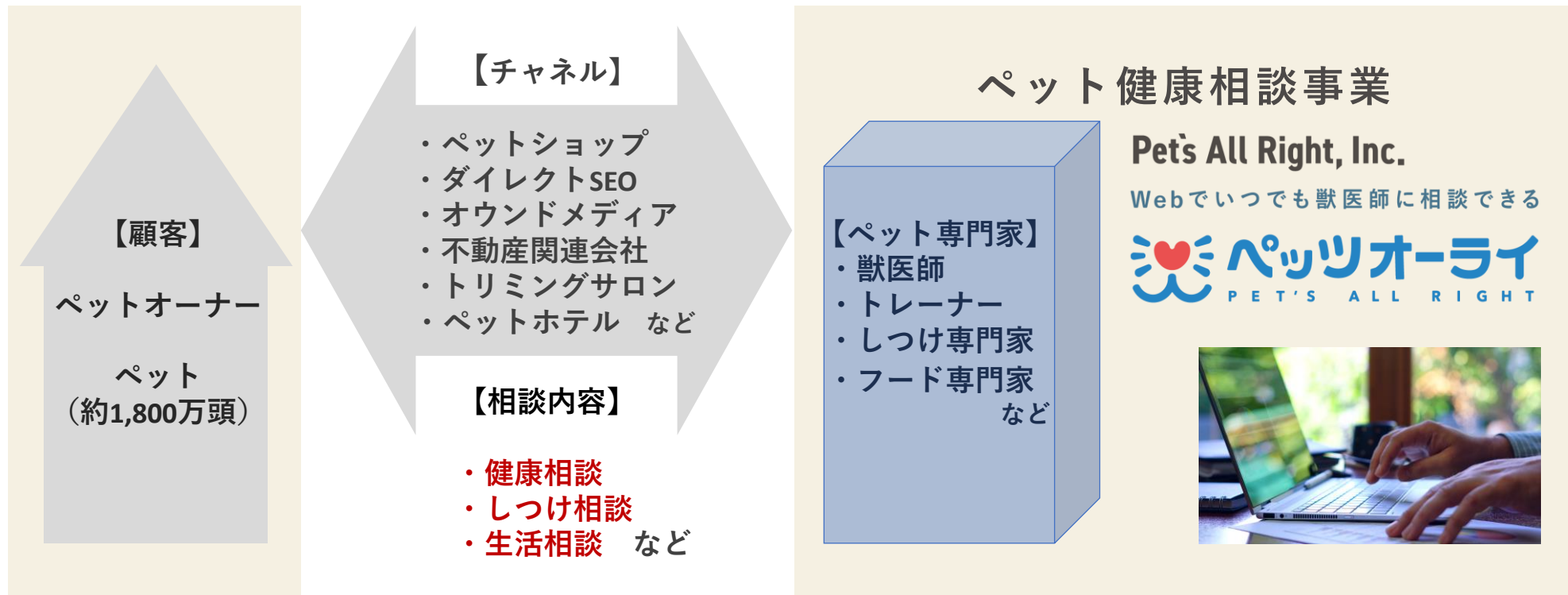
1. 信頼と安心：金融庁“免許”を受けた損害保険会社であり「損害保険契約者機構」に加入
2. 高い伸び：ペースを上げる保有契約件数
3. 安定基盤のペットショップ代理店チャネル
4. 成長著しいインターネットチャネル
5. 全国5,400施設以上の動物病院で窓口精算が可能



(画像はイメージ)

	少額短期保険会社	損害保険会社
ペット保険取扱	12社	5社
参入要件	登録制	免許制
最低資本金	1,000万円	10億円
取扱商品	掛け捨てに限定 少額・短期	無制限 高額・長期・運用型も可
セーフティーネット (損害保険契約者保護機構)	なし	あり

9月末のユーザー登録者数は3月末に比べ55%増加し、事業規模は順調に拡大中



2020年度「ESG経営調査」* において東証一部を除く上場企業中、4位になる

事業を通じた環境負荷の低減(E)、ペットと共に健康で幸せに生きられる社会への貢献(S)、ガバナンスの強化による信頼性向上(G)等の取組みを、更なる成長に活かす。

Environment

ビジネスプロセスの変革や 環境に配慮した取組み

- ・デジタル化推進によるペーパーレス化
 - デジタルマーケティング
 - ご契約者さま専用「マイページ」の活用等
- ・営業車へのエコカーの活用
- ・共生環境向上、環境美化への啓蒙活動
 - しつけに関する情報発信、啓蒙活動
- ・地球環境保護への取組み推進
 - 「うちの子ライト」会員証をプラスチック製から紙製へ変更
 - 「デジタル冊子-KEEPGREEN-」化の推進
 - お取引先さまとの契約に電子契約を活用

環境負荷の低減へ

Social

ペット保険の普及拡大や ペットに関わる社会貢献

- ・ペット保険による飼い主さまの支援
 - 商品改定を実施、より継続しやすい保険料体系を実現
- ・持株会社化によるペットに関わる社会的課題への取組み
- ・青森県との動物愛護に関する連携協定
 - ペット防災サイト、ペットとの避難所情報共有マップ公開
 - ミルクボランティア育成のためのオンライン講座開催支援
- ・各種情報発信、啓蒙活動
- ・動物福祉に関する活動等への寄付、支援
- ・従業員の働きがい
 - ペット休暇、ペット忌引き制度等
 - 在宅勤務、時差通勤を制度化
- ・若手、女性の登用等
- ・障がい者雇用の促進

ペットと健康で幸せに
暮らせる社会へ

Governance

ガバナンスの強化

- ・取締役会の監督機能強化、透明性の向上
 - 監査等委員会設置会社(※)
 - 任意の指名・報酬諮問委員会の設置(※)
- ・保険金不正請求防止に向けた取組み
- ・コンプライアンス・リスク管理の一層の強化

※2020年10月1日付でアイペットホールディングスに設置

より信頼される
ペット保険会社グループへ

「ペットと人のSDGs」に取り組むペット保険事業の推進で経営理念を実現する

重点課題	具体的な取組み(例)	対応するSDGsの目標
ペットと共に健康に	・ ペット保険の提供 ・ ペットの病気やケガに関する情報発信、啓蒙活動 ・ 商品改定を実施し、よりご継続していただきやすい商品へ	   
ペットと共に安全に	・ ペットの防災に関する情報発信、啓蒙活動 ・ 青森県における人とペットの防災対策推進強化 ・ 災害救助犬の育成支援	  
ペットを飼っている人も飼っていない人も幸せに	・ しつけに関する情報発信、啓蒙活動 ・ マナー啓蒙活動の実施 ・ かるた・カレンダーを児童養護施設へ寄贈	  
全ての命に愛を	・ 青森県との動物愛護に関する連携協定 ・ 青森県におけるミルクボランティア育成のためのオンライン講座開催支援 ・ かるた、カレンダーの写真投稿企画での寄付活動 ・ 「ペットのおうち*」への「ノミ・マダニ駆除薬」支援 ・ 終生飼養に関する情報発信、啓蒙活動	      
保険会社としての信頼性の更なる向上に向けて	・ お客さま主義の推進 ・ ガバナンス強化 ・ 保険金不正請求防止に向けた取組み ・ コンプライアンス・リスク管理の更なる強化 ・ デジタルライゼーションの推進によるペーパーレス化 ・ 営業車にエコカーを活用 ・ デジタル冊子化等による、地球環境保護への取組み推進 ・ お取引先さまとの契約に電子契約を活用	    
「うちの子」である従業員の健やかな生活と成長に向けて	・ ペット休暇、ペット忌引きの導入 ・ 女性の活躍推進 ・ 防災対策強化 ・ オンラインでの従業員教育 ・ 在宅勤務、時差通勤を制度化 ・ 障がい者雇用の促進	    

2. 業績関連

➤上期、増収増益

➤アイペット損害保険

- ・保有契約件数は、対前年同期比+21%と高成長を持続
- ・経常収益は、高い増収率
- ・業界トップクラスの高い継続率がストックビジネスを支える

新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える悪い影響はなく、旺盛なペット需要を背景にペットショップ代理店チャネル・インターネットチャネルともに順調

➤当社では、グループの現状と将来の計画について、的確にお伝えするために2つの指標を用いて経営状況を公表している

- ・経営管理指標(Non-GAAP指標)
- ・業績評価指標(4つのKPI⇒ LTV,PAC,IRR,保有契約件数)



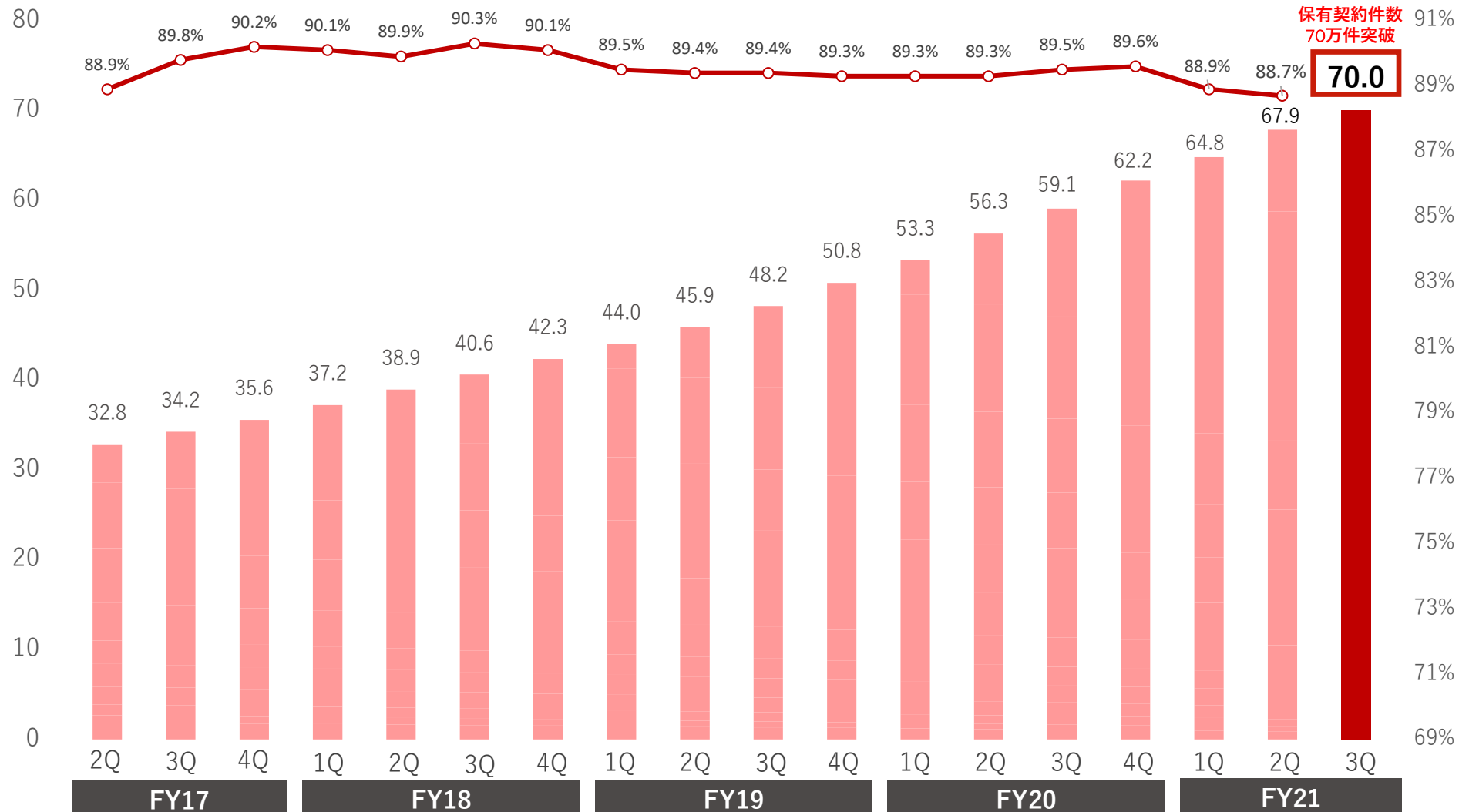
ニュースリリース

News Release

保有契約件数 続伸：新規契約件数の伸びとトップクラスの継続率がプラス寄与

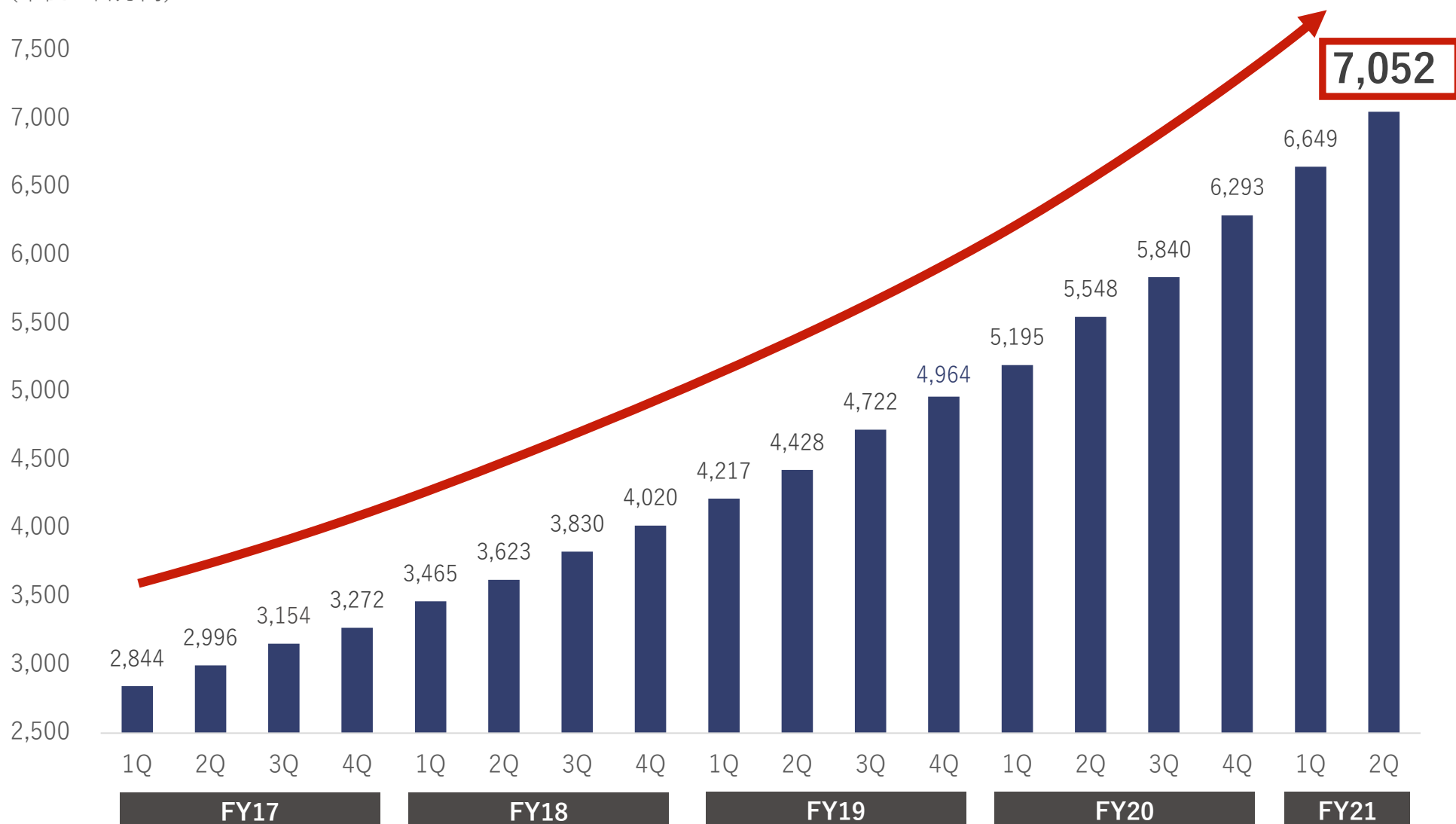
[件数] (単位：万件)

[継続率]



経常収益 続伸：事業規模の高成長は維持しつつも、高水準の増収率を達成

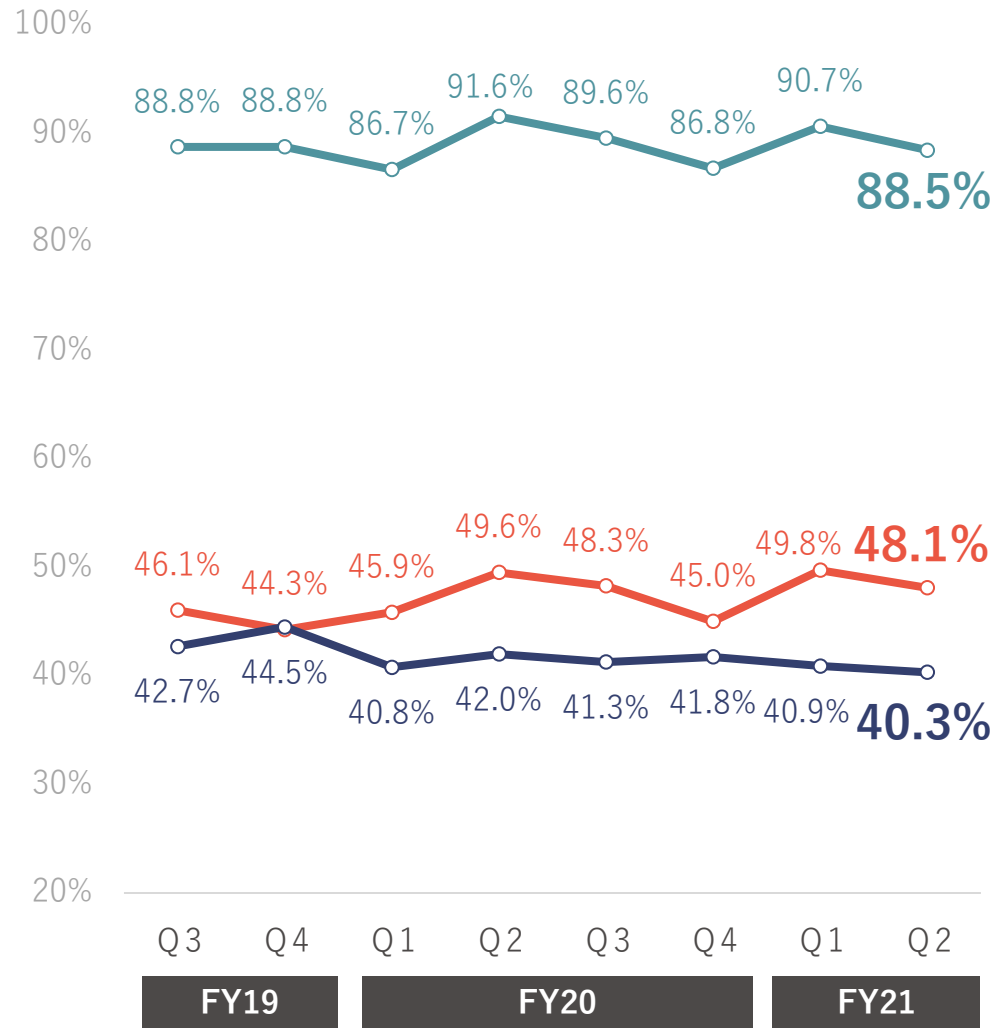
(単位：百万円)



損害率・事業費率の推移 《四半期毎・単体(アイペット損害保険)》

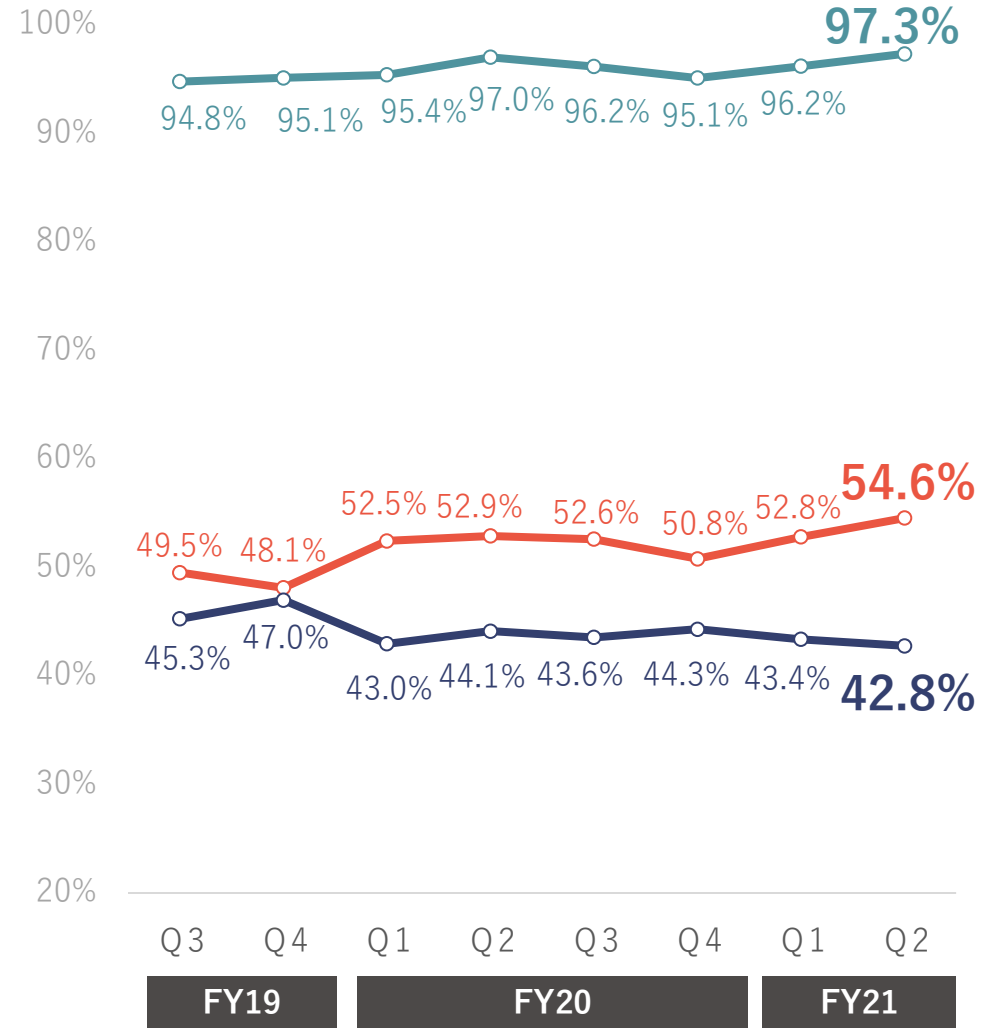
正味ベース

○ 損害率
● 事業費率
○ コンバインド・レシオ



既経過ベース

○ 損害率
● 事業費率
○ コンバインド・レシオ



アイペットホールディングス株式会社では、当グループの現状と将来の計画について、的確にお伝えするために、2つの指標を用いて経営状況を公表しています。

●経営管理指標(Non-GAAP指標)：

経営者が意思決定する際に使用する社内の経営管理指標としてNon-GAAP指標を位置づけ、当社の経営成績を表す指標として筆頭に開示しています。

Non-GAAP指標は、利益を発生主義ベースで認識する未経過保険料方式により算定するため、期間比較が可能となり、経営実態を適切に反映していると考えています。

●業績評価指標(4つのKPI⇒LTV,PAC,IRR,保有契約件数)：

アイペットホールディングスの**中長期的な経営計画と事業の収益性を投資家はじめステークホルダーの皆さまと共有する**ために今期よりグループ業績評価指標を新たに開示しています。導入の背景としては、ペット保険のように長期にわたりお客さまへサービスを提供する事業であり、かつ成長フェーズにある場合は、その事業価値を単年度のPLのみでの的確に表すことは困難であるという考えに基づいています。



2. 業績関連

- ・ 経営管理指標(Non-GAAP指標)

- 経営者が意思決定する際に使用する社内の経営管理指標

- ・ 業績評価指標(LTV,PAC,IRR,保有契約件数)

- 中長期的な経営計画と事業の収益性を示す指標

経営管理指標(Non-GAAP指標) 《4-9月の累計・連結》

当社は、Non-GAAP指標(未経過保険料方式)を経営実態を適切に表す財務指標と考えています。
当社は、日本の会計基準(J-GAAP)の他に、経営管理指標(Non-GAAP指標)にて経営成績開示を行っています。※詳細は決算短信を参照

《実績(4-9月の累計)・連結ベース；対前年同期比

1. 保険契約の順調な積み上がりにより、トップラインは順調に伸展

経常収益 10,744百万円 ▶

13,702百万円

+ 27.5%

2. 保険金請求頻度の高まりを吸収しつつ、資産運用収益の実現増により経常増益

調整後経常利益

477百万円 ▶

600百万円

+ 25.8%

調整後当期純利益

323百万円 ▶

403百万円

+ 24.8%

損害率の上昇幅が想定をやや下回り、対前期比では増収増益を達成

・ 経常収益 = 正味収入保険料 + 資産運用収益 + その他の収益

・ 経常利益 = { (正味収入保険料 + 資産運用収益 + その他の収益) - (保険金 + 責任準備金等繰入額 + 資産運用費用 + 事業費 [営業日 (販売手数料 + 販売促進費 + 広告宣伝費) + 一般管理費 (人件費 + 物件費)]) }

・ 調整後経常利益 = 未経過保険料方式の経常利益 ± 異常危険準備金**影響額 ※当社では、経営実態を適切に表す経営管理指標として使用

・ 異常危険準備金とは、異常災害による損害の填補に備えるために収入保険料に3.2%を乗じた金額を責任準備金として負債計上する。
アイペット損保の損害率が大蔵省告示第232号第2条の別表で記載されている基準損害率50%を下回るため、上記金額を事業年度ごとに積み立てている。

経営管理指標(Non-GAAP指標) 《2021年度第2四半期・連結》

《実績(2021年度第2四半期)・連結ベース； 対前年同期比較・対計画進捗》

(単位：百万円)

2Q期間ベース (7-9月)	①FY20 7-9月	②FY21 7-9月	(②-①)/① 前期比	③FY21 通期計画	②/③ 貢献率
経常収益	5,548	7,052	+27.1%	28,600	24.7%
調整後 経常利益	251	291	+15.9%	880	33.1%
調整後 当期純利益	168	196	+17.1%	580	33.9%
2Q累計ベース (4-9月)	①FY20 4-9月	②FY21 4-9月	(②-①)/① 前期比	③FY21 通期計画	②/③ 進捗率
経常収益	10,744	13,702	+27.5%	28,600	47.9%
調整後 経常利益	477	600	+25.8%	880	68.2%
調整後 当期純利益	323	403	+24.8%	580	69.6%

2. 業績関連

- ・ 経営管理指標(Non-GAAP指標)

- 経営者が意思決定する際に使用する社内の経営管理指標

- ・ 業績評価指標(LTV,PAC,IRR,保有契約件数)

- 中長期的な経営計画と事業の収益性を示す指標

目的：当社の中長期的な経営計画と事業の収益性を投資家はじめステークホルダーの皆さまと共有する

2021年7月～9月実績

損害率の上昇および5月の商品改定に伴う一時的な継続率低下がマイナス寄与

1契約換算あたりLTV
(生涯顧客価値)

62,340円

1契約換算あたりPAC
(新規契約獲得等費用)

21,968円

ペット保険の保有契約件数

678,532件

グループIRR
(内部収益率)

35.8%

保有契約件数の高い伸び率はグループ
成長のキードライバー

*1 LTV (Life Time Value)：保険1契約あたりLTV+ペット Overlay 1契約あたりLTV×希釈係数(ペット保険の契約成立件数を基礎)。

*2 PAC (Pet Acquisition Cost)：保険1契約成立あたりPAC+ペット Overlay 1契約成立あたりPAC×希釈係数(ペット保険の契約成立件数を基礎)。

*3 2021年9月末時点

*4 IRR (Internal Rate of Return)

目的：当社の中長期的な経営計画と事業の収益性を投資家はじめステークホルダーの皆さまと共有する

➤用語の定義・前提

ペットオーライ等の事業展開により、
今後グループとして拡張を目指す

1 契約換算あたりLTV (生涯顧客価値)

【定義】1顧客が当社グループにもたらす**累計利益の総額**

【算式】一定期間における、

$(\text{収益} - \text{契約維持コスト}) \div \text{保有契約件数} \times \text{平均継続期間}$

(前提) 1. ペット保険事業とペットオーライ事業の合算

2. 平均継続期間は継続率より算出

3. 比較可能にするため米T社モデルを採用

1 契約換算あたりPAC (新規契約獲得等費用)

【定義】契約獲得1件あたりのマーケティングコスト・
一時投資費用。いわゆる**イニシャルコストの総額**

【算式】一定期間における、

$(\text{新規手数料} + \text{営業費} + \text{償却費} + \text{一時投資費用})$

$\div \text{新規契約成立件数}$

(前提) ペット保険事業とペットオーライ事業の合算

ペット保険の保有契約件数

ある時点における、
ペット保険の有効な契約件数。
今後生み出す収益の基礎。

グループIRR (内部収益率)

グループ全体の観点で
投資(PAC)によって得られると
見込まれる利益の総額(LTV)を
利回りで示した値。

*1 LTV (Life Time Value)：保険1契約あたりLTV+ペットオーライ1契約あたりLTV×希釈係数(ペット保険の契約成立件数を基礎)。

*2 PAC (Pet Acquisition Cost)：保険1契約成立あたりPAC+ペットオーライ1契約成立あたりPAC×希釈係数(ペット保険の契約成立件数を基礎)。

*3 IRR (Internal Rate of Return)

3. 中期経営計画

アイペットグループの強みと挑戦している課題

強み

挑戦している
課題

損害率上昇を吸収できる
事業費構造への転換

生産性向上に向けた
オペレーション改善
＝DXプロジェクト

経営資源

- 人財
- 全国の営業拠点
- CRM活用による市場開拓



改正動物愛護法の施行で、
ペットショップ、ブリーダーの
コスト増、販売頭数減少の可能性

損保70万件超の保有
契約件数と高い伸び率
- LTV向上の源泉

代理店



Web



ご契約者さま



動物病院

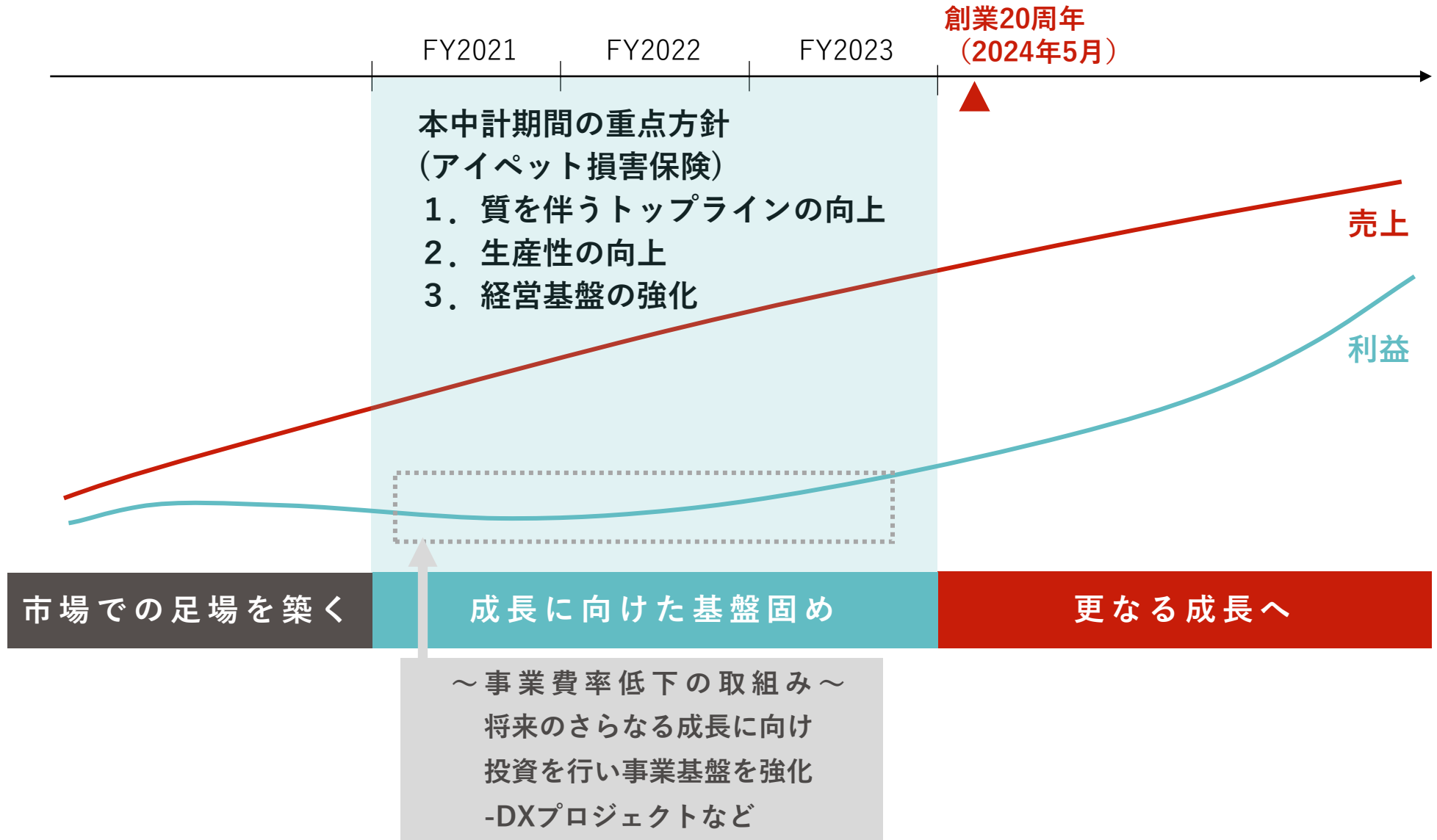


WEBチャネルでの強み
顧客サービス
- 情報発信
- オンライン健康相談
など

ご契約者さま、ペット
ショップ、動物病院と
のリレーション

窓口精算の対応動物病院
制度による高い利便性

2021-2023年度は、「成長に向けた基礎固め」をする投資フェーズ



当該中期経営計画の収益見込み

2021年3月期はアイペット損害保険では新規契約の獲得と継続率が堅調に推移しトップラインが大きく伸展したが、保険の収益構造上、短期的には利益を圧迫している。将来の更なる成長に向け、事業基盤の強化を図る。

(単位：百万円)

当期 (2021.5.14) 開示		19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期
	経常収益	14,941	18,334	22,878	28,600	33,500	37,300
	調整後(連結)* 経常利益	929	1,058	1,119	880	1,320	1,370
	調整後(連結)* 当期純利益	815	726	▲195	580	880	910
	保有契約件数 **	423,352件	508,225件	622,069件	723,000件	807,000件	884,000件

(単位：百万円)

前期 (2020.5.11) 開示		19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
	経常収益	14,941	18,334	21,900	26,000	30,000
	調整後(連結)* 経常利益	929	1,058	1,090	1,370	2,010
	調整後(連結)* 当期純利益	815	726	750	950	1,410
	保有契約件数 **	423,352件	508,225件	581,000件	648,000件	708,000件

* 20/3まではアイペット損保単体、21/3期以降はアイペットHD連結

** 各年度末（3月末）時点の損保事業の保有契約件数

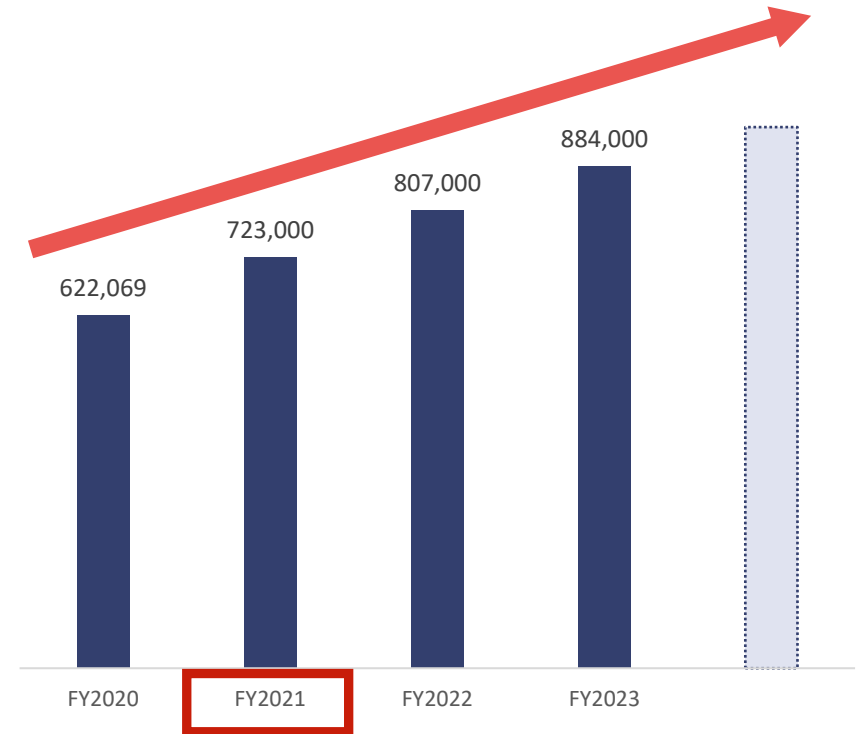
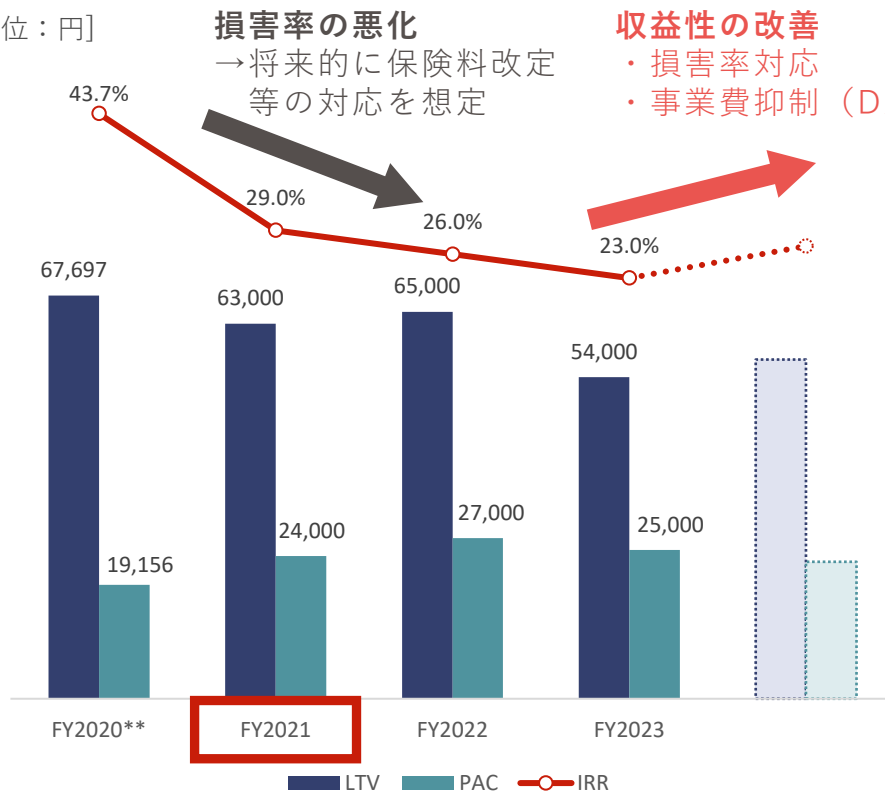
将来的に堅固な収益性を築けるよう2021-2023年度は先行投資を行う

中長期的な事業の収益性を重視するための以下4指標(グループ業績評価指標)をKPIとする

LTV・PAC・IRR

保有契約件数***

[単位：円]



- * : FY2021からFY2023の損害率は保守的に見積もった試算
 ** : FY2020は2020年10月～2021年3月の実績値に基づき計算
 *** : 各年度末(3月末)時点の損保事業の保有契約件数

私たちが皆さまと共有したいこと

ペットは人を幸せにしてくれる。
私たちにできることは、きっと、もっと、ある。

ペットと暮らすことは、私たち人間にとって、とても価値のあること。

ちょっとした感動や気づき、思いやり、あるいは癒しの時間が
日々増えていることに気がつきます。
そんな時間に満ちた暮らしを積み重ねることができたら、
社会はもっと愛情や思いやりに溢れたものになっていく。
私たちは、そう信じています。

もちろん、ペットを飼わない方や
動物たちと一緒にいることが難しい方が
いらっしゃるという現実も大切なこと。

それぞれの思いを丁寧にすくいあげ、
安心してペットとの暮らしを送ることが
できる毎日をつくりだす。

そのためのお手伝いをしっかりと。
そして、さらにその先へ。

ペットと人のより良い暮らしをデザインする。
私たちはipet です。



- ・当社は、2020年10月1日にアイペット損害保険株式会社（以下、本資料において「アイペット損保」といいます。）の完全親会社として単独株式移転により設立されました。
- ・当社の連結財務諸表は、アイペット損保の財務諸表を引き継いで作成しているため、本資料において、前年同四半期との比較を行っている項目については、特段の記載がない限り、アイペット損保単体の前年同四半期数値との対比になっております。
- ・本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
- ・これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

本資料および当社IRに関するお問合せ先

アイペットホールディングス(株)

経営企画部 IRグループ

E-mail: ir@ipet-hd.com

